

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **697** November 2016

Special Issue : Social Movements in the 1960s and their Upsurge in 1968 (1)

- Introduction to the Special Issue SUZUKI Akira
 The 1960s and Beheiren (The Japan "Peace for Vietnam!" Committee)
 MATUI Takasi
 Anti-Vietnam War Protest in Kobe, 1965-1969 KUROKAWA Iori
 An Analysis of Zenkyoto : Focusing on Interpretation and Subjective Cognition
 about Zenkyoto of Participants of the Campus Struggle at the University
 of Tokyo KOSUGI Ryoko

Book Reviews

- HARA Nobuko, IWATA Mika, MIYAJIMA Takashi, *Child Poverty in the
 Modern Society : from the Perspective of Changing Welfare and Work*
 SAKUMA Kosei
 SUZUKI Hitoshi, *Thatcher and the Nissan Sunderland Plant :
 the History of Negotiations 1973-86* MASUDA Toshio
 YAMAGUCHI Satoshi, *The Space-Time of 'Shudan-Shushoku' : Collective
 Young Labor Recruitment and Migration in Japan* NAKAZAWA Takashi

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

..... Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
 web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
 e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305~7

定価1,000円(本体926円)
 年間購読 12,000円(税込)

六九七号

【特集】

「1968年」と社会運動の高揚(1)

二〇一六年十一月

大原社会問題研究所雑誌

697 2016.11

【特集】「1968年」と社会運動の高揚(1)

- 特集にあたって 鈴木 玲 1
 1960年代と「ベ平連」 松井隆志 2
 いやがらせの思想——「ベトナムに平和を！」神戸行動委員会の経験
 黒川伊織 16
 全共闘とはなんだったのか
 ——東大闘争における参加者の解釈と意味づけに着目して
 小杉亮子 33

■書評と紹介

- 法政大学大原社会問題研究所 原伸子・岩田美香・宮島喬編
 『現代社会と子どもの貧困』 佐久間孝正 49
 鈴木 均著 『サッチャーと日産英国工場』 増田壽男 53
 山口 覚著 『集団就職とは何であったか』 中澤高志 59

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所 64

月例研究会 75

所報 2016年7月

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1
 TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2016年版 第86集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
〈特集1〉 最低賃金の水準と位置づけの変化

〈特集2〉 教育労働者の労働問題
—日本の公立学校教員を対象として—

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

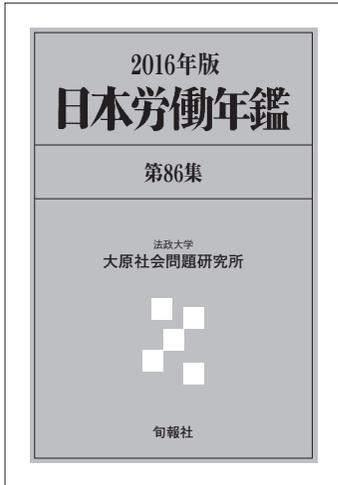
ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
1冊

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・512頁

旬報社 〒112-0015 東京都文京区目白台2-14-13
電話(03)3943-9911 FAX(03)3943-8396 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No. 676 2016年11月号 定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

「ディアローグ：労働判例この1年の争点」

■提言	「働き方改革」?	唐津 博
■ディアローグ	労働判例この1年の争点	鎌田 耕一 野川 忍
特集「兼業・副業」		
■論文	「複業」の実態と企業が認めるようになった背景	萩原 牧子 戸田 淳仁 紺屋 博昭 倉田 賀世
	兼業・副業をめぐる労働法の問題点と今後の課題 マルチジョブホルダーをめぐる社会保障の課題 ——とりわけ被用者保険制度を対象とする比較法的検討	
■労働政策の展望	同一労働同一賃金論に寄せて	稲上 毅
■書評	加藤恵津子・久木元真吾著『グローバル人材とは誰か——若者の海外経験の意味を問う』 新屋敷恵美子著『労働契約成立の法構造——契約の成立場面における合意と法の接合』 有田伸著『就業機会と報酬格差の社会学——非正規雇用・社会階層の日韩比較』	酒井 千絵 小宮 文人 徐 命 希
■論文Today	(契約に基づく) 私生活の開示義務	河野 奈月
■フィールド・アイ	EU離脱と高度人材(英国から①)	荻谷 剛彦

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2016年10月号
71巻10号

10

定価 1,100 円(税込)
年間購読 12,000 円(税込)

【特集】 保育の質の確保・向上を

- ◆ 保育の意味を考える——子どもの育ちを支えるための保育を……………小林美希
- ◆ 変質する保育労働と改善への課題……………小尾晴美
- ◆ 非正規化・雇用劣化する公営保育と自治体の役割……………上林陽治
- ◆ 子育て支援の保育現場で……………徳田武史
- ◆ 公共サービスの充実と安全・健康な保育職場づくり……………豊中市子ども未来部安全衛生委員会
- ◆ フィンランドの保育サービス——女性の労働参加と子育て支援……………山田真知子

- ◆ 巻頭言 新生労研——これからの労働科学・10……………細田瑛一
- ◆ 運輸事業の現場に学ぶ安全走行——安全を支える健康への取り組み・4……………作本貞子
- ◆ 労研アーカイブを読む・26 労働科学への旅(24)……………毛利一平
- ◆ につぼん仕事唄考・37 炭鉱仕事が生んだ唄たち(37)……………前田和男
- ◆ 口絵: CSRがつながる地域社会と中小企業・34 さいたま市CSRチャレンジ企業認証企業……………株式会社三幸製作所

〒151-0051 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階
TEL: 03-6447-1435 (事業部)
FAX: 03-6447-1436
HP: http://www.isl.or.jp/